

8-3-13 選定・契約専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 専門委員会の開催

委員会開催回数：7回（4月～3月）

適時専門委員会を開催し、企画部会、業務システム委員会等からの指摘、アドバイスに基づいて各担当WGの検討項目を審議した。

各WGの下記活動報告書は、協会会員への情報提供として、協会ホームページに掲載する。

(2) 適正なプロポーザル方式、総合評価落札方式の検討

a) プロポーザル・総合評価落札方式の現状把握及び年次報告書の作成

各発注機関のプロポーザル方式と総合評価落札方式の実施状況の把握を目的に協会会員企業へアンケートを実施し、結果について取りまとめ、概要版、報告書を作成した。各社の問題点認識に対する分析結果は白書に掲載した。

b) 国土交通省の総合評価落札方式のデータ収集整理、課題と適正な選定方式の提案及び年次報告書の作成

各地方整備局の入札調書の開示データを収集し、契約形態別の発注件数、金額、競争入札の落札率、総合評価落札方式の落札率、技術点差、無効率、逆転率などの実態把握と課題を整理し、四半期毎の概要版と報告書を作成した。分析結果は白書、要望と提案の補足資料として活用した。

c) 積算の現状把握と合理化の提案及び年次報告書の作成

総合評価落札方式での積算（予定価格の算出）作業の合理化に向けて、各地方整備局の積算条件の開示状況に対し過年度調査からの改善効果に着目し、委員会構成企業へ実態把握のためのアンケート調査を実施した。課題や改善点を整理するとともにアンケートで得られた好事例を整理し、報告書を作成した。積算における問題点や改善状況などの実態は、要望と提案の補足資料として活用した。

d) プロポーザル方式等の運用実態の把握

協会活動のテーマ「プロポーザル方式の拡大」に向けて、プロポーザル方式、総合評価落札方式、競争入札での発注の妥当性、業務規模の妥当性、追加提案に対する設計変更の有無などの実態を把握するため、委員会構成企業へアンケート調査を実施した。現状の発注方式での適合性や課題等を整理し、業務システム委員会及び未来塾へ補足資料として提示した。

(3) 地方自治体への技術による選定の普及提案～地方自治体の選定・契約制度の現状把握と年次報告書の作成

都道府県、政令市の選定・契約制度（指名基準、入札契約方式、成績評定、優良業務表彰等）の現状を把握するため、協会各支部へアンケート調査を依頼し、取りまとめ結果を年次報告書として支部にフィードバックした。

2. 企画部会・業務システム委員会等との関連

(1) 「要望と提案」と「白書（現状と課題）」

令和2年度「要望と提案」と「白書」については対外活動部会の提示により、当専門委員会は「予定価格積算における経費算定方法の合理化」、「技術力による選定」の項の原案作成及びバックデータ作成を担当した。

(2) 中期行動計画実施計画のフォロー

中期行動計画のうち、当専門委員会に関する年次計画及び実施計画作成を担当し、その実施状況について総括を行った。

3. 次年度の活動について

以下の継続検討課題について検討する。

- ① プロポーザル及び総合評価落札方式の会員アンケート調査の実施及び課題の報告
- ② 国土交通省の公表資料を基に、契約方式別の発注状況整理及び総合評価落札方式の発注状況実態調査及び改善提案
- ③ 地方自治体の選定・契約制度の現状把握と年次報告書の作成
- ④ 積算の現状把握と年次報告書の作成

（選定・契約専門委員会委員長 木村 誠一）